

京都唯一のむら

豊かな自然と調和を図る



——— 南山城村



◇南山城村の概要

南山城村は京都府の東南端に位置する京都府唯一の村です。北は、和束町と滋賀県甲賀市に、南は奈良県奈良市に、東は三重県伊賀市に、そして西は笠置町と奈良市に接しています。

村の中央には、近畿圏と中京圏を結ぶ国道163号が東西に走り、また、国道に沿いながらJR関西本線が通過し、京阪神地域と中京圏を結んでいます。

村のほとんどが山林で占められていますが、人里離れた谷間や丘陵の上には豊かな茶園が広がり、夢絃峡や月ヶ瀬湖といった清流が生み出す幽玄美、緑あふれる童仙房高原など風光明媚な景勝地に恵まれています。

南山城村を代表する特産物である「お茶」は、昔から多くの人々から愛され、村にとって非常に大切な存在となっています。その品質の良さは全国的な品評会でも高い評価を得るなど、南山城村は「宇治茶の主産地」として広く知られるところとなっています。

◇国保の概況

南山城村国保の加入状況は、平成22年度末で592世帯、1,128人で、南山城村村民全体に対する加入割合は、世帯で48.1%、被保険者数で35.2%となっています。

医療費は年々増加傾向にあり、平成22年度は受診率が京都府内で最高となっています。一人当たりの費用額も高く、多重受診や後発医薬品についての啓発、保健師による健康相談など医療費抑制への取り組みをおこなっていきたいと考えています。

保険税については4方式を採用して賦課徴収しています。平成22年度の収納率は93.57%と近年を上回りましたが、国保の安定的な運営に向けさらに収納率を向上させ税収を確保することが重要と考えています。収納率向上の取り組みとして納税通知書発送時の口座振替の案内や、全世帯に設置されたIP告知端末での納期のお知らせなど、納期内納付の呼びかけをおこなっています。

また、平成22年度からは京都地方税機構へ参画しており、連携をとりながら今後も収納率の向上に努めていきます。



田山花踊り
(京都府指定無形民俗文化財)

国保被保険者の動向

(各年度末数値 単位：世帯、人、%)

年度	総世帯数	総人口	国保加入世帯	加入率	被保険者数	加入率
20	1,220	3,342	594	48.7	1,169	35.0
21	1,227	3,268	611	49.8	1,153	35.3
22	1,232	3,203	592	48.1	1,128	35.2

1人当たり医療費

(円)

年度	一般	退職	全体
20	321,252	368,890	325,132
21	399,780	294,484	392,596
22	369,235	419,510	371,775

※ 年間費用額（食事含）÷年間平均被保険者数

国民健康保険税収納率の年度別推移

(%)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般被保険者	92.27	90.61	93.26
退職被保険者	96.61	97.94	98.05
全体	92.64	91.30	93.57

◇保健事業の取り組み

南山城村では８月から１０月まで村内の医療機関で個別受診、１１月、１２月に地域の公民館などで集団健診を実施しています。特定健診の自己負担は１，０００円で対象者には受診券と併せて特定健診の案内を郵送しています。

疾病予防事業では、３０歳以上の方には人間ドックと脳ドックの利用助成をおこなっています。人間ドックは費用の８割相当、脳ドックについては費用の７割相当を助成し、随時申し込みを受け付け、なるべく多くの方に受診していただけるよう努めています。平成１７年度からは健康増進を目的とした陸上運動と水中運動を取り入れた「はつらつ健康運動教室」を開講しており、事業開始当初から多くの方が健康づくりのため継続して参加され好評を得ています。

また、健康運動実践指導者によるヘルスアップ広場やイベントでの血管年齢測定や骨密度測定、保健師による健康相談など住民が健康づくりに気軽に取り組める事業をおこなっています。

今後も安定的な国保運営に向けて、医療費の削減のため保健事業の取り組みを進めて行きたいと考えています。

人間ドック・脳ドックの受診状況

(単位 件、円)

区分	平成２０年度		平成２１年度		平成２２年度	
	件数	村負担額	件数	村負担額	件数	村負担額
人間ドック	29	1,175,000	25	971,200	36	1,371,775
脳ドック	34	605,360	25	432,060	28	524,560
合計	63	1,780,360	50	1,403,260	64	1,896,335



はつらつ健康運動教室



イベントでの健康相談の様子